



中距離電車停車に向けた検討 ⑥

本市では、JR川口駅の混雑緩和はもとより、本格化する人口減少社会や、再加速する東京一極集中の中で、今後、**首都圏近郊の都市間競争を勝ち抜くための原動力**になるものとして、中距離電車停車に向けた検討を進めています。今回は、中距離電車停車に伴うJR川口駅の施設計画をお知らせします。

新設ホームと新駅舎の位置(イメージ)



Q

新駅舎はどの位置に整備される？

A

現在の駅構内通路と、ペデストリアンデッキの間(右図の黄色部分)に新駅舎を配置する計画です。

Q

改札口はどの位置に整備される？

A

施工過程において、現在の駅構内通路や各駅舎は除却されますが、現在の駅構内通路とほぼ同位置に自由通路を整備し、その自由通路に面した北側に改札口を設ける計画です。

施工過程において
構内通路や駅舎は除却

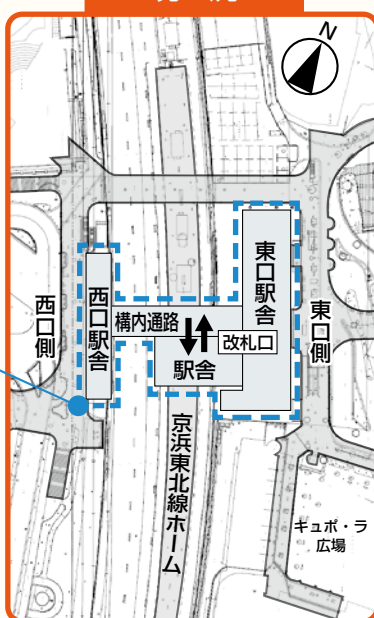
Q

自由通路の位置は駅利用者にどのような影響が？

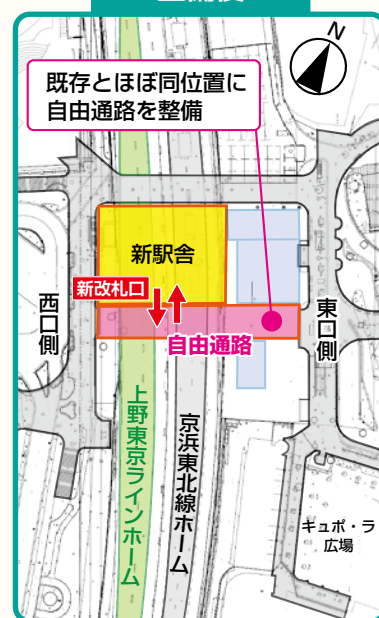
A

東口側はかわぐちキャスティ、キュボ・ラ方面、西口側はリリア方面からの利用者が多いため、整備前と同様、利便性の高い位置に自由通路と改札口を整備します。

現 況



整備後



今後もJR東日本との協議を進め、早期の基本協定締結を目指していきます。

JR川口駅中距離電車停車に向けた検討状況は、引き続き広報かわぐちなどでお知らせしていきます。